

てんてん新聞

15.8. No.212
 発行所 上野原町
 発行責任者 佐藤 貴
 0883-88-52

知ってる様ぞ知ってるのニンとばかり

いろいろ 学んでみる

七月は雨の日が多かったらしく、

それども、あれこれ出来てみましたが、雨でも面白いことがいっぱいあったりして。

ニクニクがミは、少し位の雨でも鳴いてます。既ほ、雨がいつぱい降り出すと、鳴かなくなってくる。

合牛は、アブラセ、ミヨリ早くミニミンセンセミの鳴き音がこま

くたま。

ウスバキトホ

(祖谷ではソバ)

キトホとまうの調査のそと

いそくました。

このトホ、物動

するらしい。

南から北へと

世代を繰り返

しのがら...

何故か分かる

い...

今日二十九日に今年はいじめと...

それから七月末頃に

びると某団の教が球

えてきて、七月十一日には

標高470Mから400Mの

向にあちこちで某団が

騒がかってました。

ほかほか植物にとまうて

くわいのので、観察はあつ

かしのぞすが、よい勉強にはなってます。

また、久々に奥東から十数名の皆さんめが이드が

あり、こい又、いろいろ教えることもううことがあり、お

かつたし、楽しかったですよ。

なかで、大枝地元の「七人塚」の事例では、「寿永元

年」と読める序、さう、寿永元年って何びよかと

南なれ、知りませんかと。早速調べ、次の日「百五に

コニニ斗でした」と報告、所がこれでは「平家徳就

の言」伝えより早く「百五」の事です。

とミで「七人塚」がある下家の「主人に痺りてかると

はんと、それは「嘉永元年」に拜してと説明さし、ま

た、「壽永」と書いてあるのが、さう...

「七人塚」の語り、調べても「寿永元年」とまっ

てますが、M先生の故人のうらなとさんか、さうか、

ちなみに嘉永元年は一人四斗、明治より三斗前



いろいろ (ぼんぼり)

いろいろなイベントが各

地、毎週の様には南地

下山しますが、イベント

の河の為にするの

ど、のイベントもあ

ります。

地域住民が中心とな

るべく、スポンサー未

かせ、地域の人は、何と

してやるの知らない。

これか、アゲネスに挑戦

して、ついでに...

オイオイしつかりさうぞ。

